

2014年8月28日

日清製粉(株) 鶴見工場に26,000トンの原料小麦サイロを増設
～原料小麦の更なる安定供給を推進～

日清製粉グループの日清製粉株式会社（社長：大枝 宏之）は、このたび日清製粉鶴見工場（川崎市）の敷地内に、収容力26,000トンの原料小麦サイロを増設することを決定しました。

鶴見工場は日本最大の生産能力を有する製粉工場で、大型穀物本船の接岸が可能な自社の専用岸壁と小麦サイロを有しており、大消費地である首都圏及び関東・東北へ小麦粉を出荷する日清製粉を代表する臨海大型工場です。今回、新たに小麦サイロを増設することによって、従来以上に需要に即した原料小麦の確保と保管及び安定供給を行ってまいります。

また日清製粉では現在、東灘工場に隣接する連結子会社の阪神サイロ株式会社が収容力20,000トンの小麦サイロの増設を予定通り進めております。今回の鶴見工場の小麦サイロ増設と合わせ、日清製粉の関東地区・関西地区の基幹工場において小麦サイロ収容力の増強を進め、更なる原料小麦の安定供給を推進してまいります。

（増設概要）

増設収容力 : 26,000トン
(増設後の総収容力131,000トン、原料小麦ベース)
着工 : 2015年3月予定
完工 : 2016年6月予定
投資額 : 約35億円

（日清製粉鶴見工場の工場概要）

所在地 : 川崎市川崎区大川町3-1
生産能力 : 一日当り原料小麦挽砕能力 2,150トン

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当：関野、佐々井
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650